

一般質問通告書

受領日時 令和8年 5月27日 午前 10時 36分 2番 氏名 小玉 正範

質問項目	質問の要旨
1 今年のカマ対策は	<p>(1) 先月5月19日大川西野・谷地中地区、5月21日には、雀館町内でのカマの目撃情報があった。今年のカマの出没が例年より早いと言われている。また、本年は山中での野生動物にとっての食物が増える年であることから、昨年よりは出没回数が減るとの当初の予想をくつがえしている。町はこのような状況をどう見ているか。</p> <p>(2) 今年のカマ出没状況に対して、昨年からさらに踏み込んだカマ被害防止対策はないか。昨年のように人身被害が起きないように、町民を少しでも安心させることのできる対策を発表してほしい。</p> <p>(3) 今年こそ、河川敷等での緊急銃猟訓練を行えるだろうと思っているが、いつ頃になるのか。もし準備に時間がかかっているのなら、その理由は何か。河川敷への箱わな設置についてはどうか。</p>
2 町中心地の公園 公園法の適用は	<p>(1) 能代市に行った際に、大小の公園があちらこちらにあり、遊具も設置されている状況が見られた。子供が少なくなったとはいえ、本町として公園の必要性をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 25年以上前、西磯ノ目の地域は新興住宅地のような状況だった。公園設置については国による一律の基準(当時の都市公園法)があった。西磯ノ目地域を宅地として開発するには「街区公園」にあたる土地が必須だったと思われる。それなのに、現在、なぜ西磯ノ目町内に公園用の土地がないのか。別の用途に使用しているのではないか。</p> <p>(3) 現在の町内の状況では、公園を設置すべき標準的な住宅地に相当すると思われるが、町内からの要望があれば、自治体として公園を設置するのか。</p>
3 ふるさと住民登録 制度について	<p>(1) 今年の秋から、国がウェブページを立ち上げ、この「ふるさと住民登録制度」が始まる予定と聞いている。この制度の有利性は何で、本町としての対応を何か検討しているのか。</p> <p>(2) 本町は移住者が多いと言われているが、軒数や人数は。町民として知っておくべきではないか。また、ふるさと住民登録制度がうまく機能するために、次のことを提案したいが、町としての考えは。提案：①すでに移住されている皆様方へアンケートを取り、本町を選んだ理由（・働く場所・居住環境・教育環境・コミ</p>

	<p>ユニティ・人間関係等々)をまとめて、それを魅力の一部として訴える。②制度を利用した方には、その内容に応じて、ふるさと納税返礼品を割安で購入できる等。</p>
<p>4 男女共同参画社会の対策</p>	<p>(1) 町として男女共同参画社会への対応や男女格差をどのようにとらえているのか。日常生活・社会での男女格差をなくすための啓発活動は必要ないのか。</p> <p>(2) 若い女性が都会に出てしまう原因の一つに、地方には働く場所や自分を生かす仕事がないためと言われている。人口減少を少しでも食い止めるために、男女共同参画社会の対策として、本町として取り組める分野はどんなところと捉えているのか。(分野としては、①家庭②仕事・職種③役職④伝統行事・文化⑤避難所運営⑥経済活動、等々、いろいろ挙げられる) 具体的にはどんなことか。</p>